

# いわき地球市民フェスティバル

11月23日、今年で20回目となるいわき地球市民フェスティバルが開催されます。今年も市内に住む外国にルーツを持つ市民による日本語でのスピーチコンテストです。会場への一般来場はありませんが、YOU TUBEでの配信が予定されています。是非、オンラインでご参加下さい。

**第20回 いわき地球市民フェスティバル**  
The 20th IWAKI GLOBAL CITIZENS FESTIVAL  
外国にルーツを持つ市民によるスピーチ動画コンテスト開催!!  
Speech video contest by citizens who have roots in foreign countries will be held!!!  
今年もコンテストの模様を世界に向けてYOU TUBE配信!!  
11月23日(火) 13:00~16:00  
会場:チームマイかいいわきPIT  
TEL 0246-32-2511 FAX 0246-82-4289

案内チラシとYOU TUBEのQRコード



# フードバンク支援の輪が広がる

イオンモール小名浜では、6月から定期的にフードバンク用の食品やクロージングバンク用の衣類の提供を呼び掛けるボックス設置を行って下さっています。

地元の金融機関いわき信用組合では、新しい金融商品の販売をSDGs 応援として設計して下さいました。預金額に応じて地元のフードバンクや子ども食堂への支援のための寄附(物品のかたちで)が行われるというものです。

地元の企業とのこうしたつながりが、私たちの活動を背後から支えてくれることに感謝です。こうした動きはセブンイレブン記念財団の助成で今年度進める「フード&クロージングバンク事業」の進展に大きく寄与するものとなっています。



▲フードバンク活動に対して集まる食料品

**おさがりバザー開催!!**  
食品・衣類回収  
12月11日(土)・12日(日)  
10:00~16:00  
1F 南側休憩所 (遊覧船発着ロビー)

**おさがりバザーを開催します!!!**  
12/11(土)・12(日)  
10:00~16:00  
いわきららミュウ  
1F 南側休憩所 (遊覧船発着ロビー)

# 草木染め体験教室のご案内

11月3日、いわきから南相馬に出かけるバスツアーを企画。南相馬市の農家民宿のお母さんたちと一緒に、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの手ぬぐいを草木染する体験教室を行うことにしています。昨年度に引き続き、講師は岡博美先生。三重県で染工房「呼吸-kokyyu-」を主宰し、染織技術を活かしたインスタレーションや平面作品などの作品を国内外で発表している専門家です。今回のバスツアーには、地元の大学生も参加することから行程の中で東日本大震災・原子力災害伝承館の見学も盛り込み、学びの多いツアーにしようとしています。なお、この事業は地球環境基金の助成事業として行われます。お問い合わせは事務局まで。



▲昨年の草木染体験の様子

# コットン収穫にボランティア来たる!

電機連合大阪地協では毎年コットン収穫のために大型バス一台で来市されていました。昨年はコロナ禍の為、中止となりましたが、今年は10/10午前中に浪江町の福島水素エネルギー研究フィールドを訪れ、続いて東京電力廃炉資料館を見学をされるなど過密スケジュールをこなされ、泉町滝尻中ノ坪の畑に到着されたのが午後2時でした。たわわに実ったフワフワの綿を見て皆さん「全部取るぞ!!」と張り切って畑に飛び込んで行かれた感じでした。出発時間寸前までの1時間半で6袋約18キロの大量の収穫に皆さん大満足の笑顔でした。

来年も是非ともコットン収穫にお出で下さい、お待ちしております。



▲収穫ボランティアの皆様▲

**私たちの活動を会員として支えて下さい。会費納入をよろしくお願い致します。**

活動会費 (実際に活動に参加される方と、会報購読という形で支援して下さいの方)	2,000円/年
賛助会員 (資金的な面から支えて下さる方と法人・団体会員)	10,000円/年

郵便振替 (02110-0-24908) でお送り下さい。

**全力投球は無理!**  
最近、押し入れに首を突っ込み書類の整理をする事が多くなった。小学生から高校時代まで大切に保管していた通信簿に暫し見入ってしまった。どの学年の成績も取り立てて優れてはいないが評価欄に共通して書かれていることがあった。「目立たないが真面目な生徒です。もっと積極性が欲しいです。大人になって目立つ言動がやたらに多くなり笑ってしまっただが...」  
▼授業終了後のお掃除の時間になると皆解放感からかふざけたり騒いだり中々掃除に取りかからなかった。何故か私は黙々掃除に取りかかった。時々先生が見回りに来るが皆途端にやっていたふりをして静かになる。そんな時皆に注意する勇氣はなかった▼卒業が近づくとサイン帳を交換するのが流行っていた。サイン帳も数冊取つてあり、その中に嬉しいメッセージを見つけた。「誰が見てよつと見てまいとお掃除を真面目にやっていたかほるさんの姿は忘れません。私達のお手本でした。これに近い表現が幾つかあって、ページを捲るたびに当時のことが思い出され胸が熱くなった▼青春時代「全力投球」と言う言葉が好きです。つと座右の銘にして来たが、ここ数年「全力投球」は自分には無理だと気づくようになった。30キロ玄米の袋を抱えられなくなった。しまったことを初め、常に「よしよし」と掛け声をかけない立ち上りがないのだ。とにかく一人でやれなくなった事が多くなり情けなく不安を覚える。今である▼こんな風にエネルギーが無くなって来たのは歳のせいだと諦めかけていた矢先四季の励ましという詩の一節に出会った。「未来の勝利は今にある。ゆえに、過去を振り向いて嘆く必要もない。いづらに、未来に心をこらわれて焦りや不安を、覚える必要もない。そうなんだ! いまいるこの場所で、自分らしくありのまままでベストをつくした生きかたをすればいいのだ。身も心も軽くなるのを覚えた。(甘)